

# お子様がどのような使い方をしているかご存知ですか？

～「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」より～

内閣府が4月に発表した「令和元年度 青少年\*のインターネット利用環境実態調査」の内容を簡単にまとめて、お伝えいたします。  
 \*青少年…満10歳～満17歳

## 1 青少年のインターネット利用率について

青少年の **93.2%**（小学生：86.3%、中学生：95.1%、高校生：99.1%）がインターネットを利用しており、昨年度（93.2%）と同数となっています。

## 2 青少年が最もインターネットを利用している機器について

インターネットの利用機器は**スマートフォンが63.3%**でトップ、以下、携帯ゲーム機（31.2%）、タブレット（29.6%）、ノートパソコン（16.1%）が上位となっています。



## 3 青少年のインターネット利用時間について（平日1日）

青少年の平日1日のインターネット平均利用時間は**約3時間2分**（182.3分）と、昨年度より約14分増加しました。

特に**高校生は約4時間8分**（247.8分）と、昨年度より31分増加し、平均利用時間は4時間を超えました。中学生は12分増えて約2時間56分（176.1分）、小学生は11分増えて約2時間9分（129.1分）となっています。



### ◇インターネットの利用時間（利用機器の合計／平日1日あたり）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成28年度比
総数	約2時間34分 (154.3分)	約2時間39分 (159.3分)	約2時間49分 (168.5分)	<b>約3時間2分</b> (182.3分)	+28.0分
小学生	約1時間33分 (93.4分)	約1時間37分 (97.3分)	約1時間58分 (118.2分)	<b>約2時間9分</b> (129.1分)	+35.7分
中学生	約2時間18分 (138.3分)	約2時間29分 (148.7分)	約2時間44分 (163.9分)	<b>約2時間56分</b> (176.1分)	+37.8分
高校生	約3時間27分 (207.3分)	約3時間34分 (213.8分)	約3時間37分 (217.2分)	<b>約4時間8分</b> (247.8分)	+40.5分

## 4 インターネットを3時間以上利用する青少年の割合について（平日1日）

平日1日の平均利用時間が**3時間以上**と回答した青少年の割合は、**約47%**（46.6%）。小学生では約30%（29.3%）、中学生は約46%（45.8%）が3時間以上と回答しています。

特に高校生は約67%（66.3%）と、**高校生の約3人に2人が3時間以上**と回答しており、さらに**高校生の約3人に1人（31.5%）は5時間以上**と回答しています。また、同じく5時間以上と回答している小学生は約8%、中学生は約17%となっています。

◇インターネットの利用時間3時間以上の割合（利用機器の合計／平日1日あたり）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
		3時間以上	3時間以上	3時間以上	3時間以上	5時間以上
総 数		35.3%	37.2%	40.2%	46.6%	18.4%
	小学生	14.0%	16.1%	21.0%	29.3%	8.3%
	中学生	30.4%	35.5%	37.1%	45.8%	16.9%
	高校生	54.4%	53.8%	61.7%	66.3%	31.5%

5 インターネットの利用内容について

利用内容について、特に高いものは以下の通りになります。（順位は昨年度と変わらず）

「**コミュニケーション**」（メールやメッセージ、SNSなど）は、小学生では41.8%ですが、中学生では75.3%と一気に増加、さらに高校生では90.1%に達します。

<b>小学生</b>	①ゲーム…81.7%、 ②動画視聴…72.0%、 ③コミュニケーション…41.8%
<b>中学生</b>	①動画視聴…84.3%、 ②ゲーム…76.4%、 ③コミュニケーション…75.3%
<b>高校生</b>	①コミュニケーション…90.1%、 ②動画視聴…87.8%、 ③音楽視聴…84.3%

6 家庭のルールの有無について

インターネットの利用に関する家庭のルールについて、**約8割（77.4%）の保護者が「ルールを決めている」と回答**していますが、小・中・高校と学校種が上がるにつれて「ルールを決めていない」と回答する保護者が増加しています。

また、家庭のルールについて、「ルールを決めている」と回答した保護者が77.4%に対して、「ルールを決めている」と回答した子どもは60.7%と、**子どもたちと保護者との間に認識のギャップ**が存在しています。



◇インターネットの利用に関する家庭のルールについて「ルールを決めている」と回答した割合

青少年総数	60.7%	⇔	保護者	77.4%	（その差 16.7 ポイント）
・小学生	77.7%	⇔	小学生の保護者	88.3%	（その差 10.6 ポイント）
・中学生	63.6%	⇔	中学生の保護者	80.4%	（その差 16.8 ポイント）
・高校生	38.6%	⇔	高校生の保護者	62.6%	（その他 24.0 ポイント）

新型コロナウイルスによる休校措置により、自宅で過ごす時間が増え、子どもたちのインターネット利用時間も増えていることも予想されます。何をするためにインターネットが必要なのか、どのようにインターネットを使うか、などご家庭でしっかりと話し合い、ルールを作り、それを確実に共有するなどして、子どもたちの適切なインターネットの利用を促しましょう。

<出典>・内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」

[https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka\\_gaiyo.pdf](https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf)

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745（直通） メール：[h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp](mailto:h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp)